

2018年度

1. ホスピス緩和ケアに関する研究助成

No.	氏名	所属	研究課題名
1	日下部 明彦	公立大学法人 横浜市立大学	がん終末期における患者のセクシャリティについての医療者の対応
2	田中 美穂	公益社団法人 日本医師会総合政策研究機構	日本の安楽死、治療中止、緩和ケアに関する現状と課題の分析—世界の安楽死の動向との比較を通して—
3	門脇 緑	学校法人 聖路加国際大学大学院	外来通院治療中の進行がん患者に対するEnd-of-life discussionsにおける看護と関連する要因の検討
4	小川 恵子	国立大学法人 金沢大学附属病院	緩和ケアにおける倦怠感に対する接触鍼治療効果の検討
5	大村 光代	学校法人 聖隷クリストファー大学	看護師の経験知に基づく老衰に近い看取りの予後予測ツールの開発
6	井上 実穂	独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター	親ががん患者である子供への支援プログラムの有効性に関する研究
7	石井 敦子	公立大学法人 和歌山県立医科大学	在宅終末期の意思決定支援ツール開発に関する研究
8	山手 美和	公立大学法人 福島県立医科大学	小児・AYA世代にあるがん体験者の生活の質を高める包括的支援体制構築のための予備研究
9	名越 恵美	公立大学法人 岡山県立大学	難治性心不全患者の緩和ケアに関する循環器専門病院看護師の認識と多職種間調整に関する研究
10	津村 麻紀	平塚共済病院	緩和ケアに携わる心理職の活動モデルに基づく専門教育に関する研究
11	松岡 真里	国立大学法人 高知大学	「End-of-Life Nursing Education Consortium-Pediatric Palliative Care(ELNEC-PPC)」プログラム日本版の開発-2017年度に作成した日本語版原案の洗練
12	廣田 真由美	国立大学法人 金沢大学	積極的治療の継続が困難になったがん患者への退院支援に関する研究—がん診療連携拠点病院の退院支援看護師による支援の現状とその特徴—
13	石田 正子	国立行政機関 国立療養所多磨全生園	ハンセン病療養所の看護師の倫理的感受性の現状と関連する要因
14	金川 潤也	埼玉医科大学	がん患者の筋筋膜性疼痛に対する電気治療における効果を調べる多施設共同研究
15	川野 英子	公立大学法人 新潟県立看護大学	訪問看護ステーション実習時における終末期ケアに関する学習内容の現状と実習指導上の課題